

克雪聞き取り調査 概要（結果報告）

（国交省 平成 24 年度雪国の安全安心な暮らし確保のための克雪体制推進調査）

目的：市内豪雪地域の住民から、除雪に関する困りごとや求める支援を直接聞き取り、除雪支援体制ネットワーク委員会において、調査結果を元に必要な地域除雪体勢を整備することに役立てることを目的に実施。

調査期間：平成 24 年 11 月～平成 25 年 1 月

調査体調地域：高島市内豪雪地帯（マキノ、今津西、朽木）

調査集落数：20 集落

聞き取り人数：144 名（各集落の高齢・独居世帯ほか住民の方）

聞き取り方法：面接（個人、グループ）および電話による聞き取り

設問数：19 項目（別紙のとおり）

調査主体：高島市社会福祉協議会

協力：たかしま市民協働交流センター

マキノ

集落名	月日	聞き取り場所	人数	聞き取った人
浦区	11/1	お寺	8	川嶋
在原区	11/5	個人宅	3	川嶋
グリーンレイク町内会	12/4、1/21	個人宅	4	堺（克雪委員）、平松
牧野区	12/4	個人宅	1	平松
下区	12/5、12/17、12/20、12/26	個人宅	4	平松、川嶋
野口区	12/7、12/21、12/25、12/27	個人宅、集会所	10	竹下、平松、川嶋
山中区	12/28	個人宅	1	川嶋
合計 7 集落 31 人				

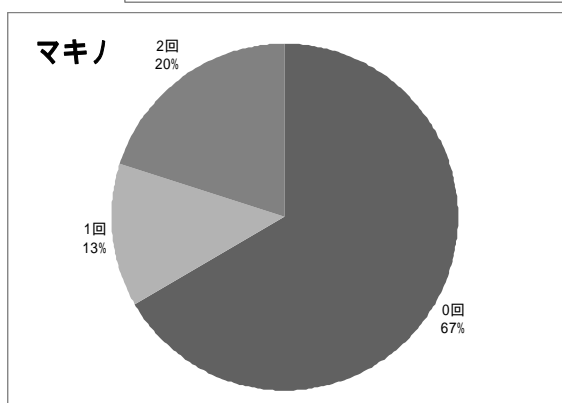
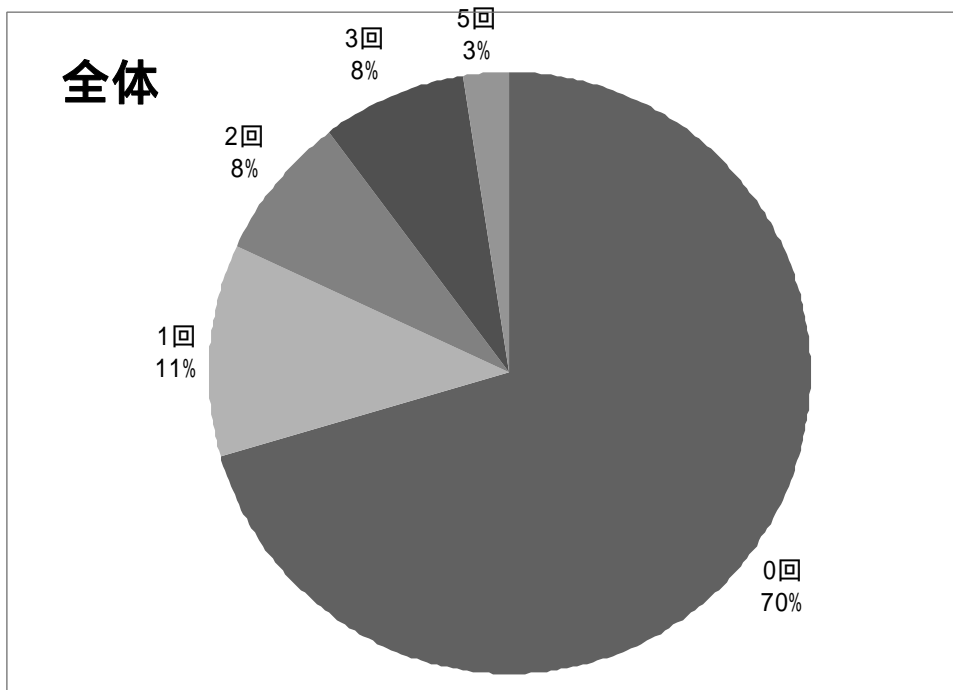
今津

集落名	月日	聞き取り場所	人数	聞き取った人
天増川区	12/10 12/25	個人宅・今津西 デイ	3	唐澤
角川区	12/19	角川区生活改善 センター	37	白坂、竹下、唐澤
保坂区	12/23	草の根ハウス	6	唐澤
椋川区	12/23	ECC 学園 （椋川分校）	12	竹下、唐澤
合計 4 集落 58 人				

朽木

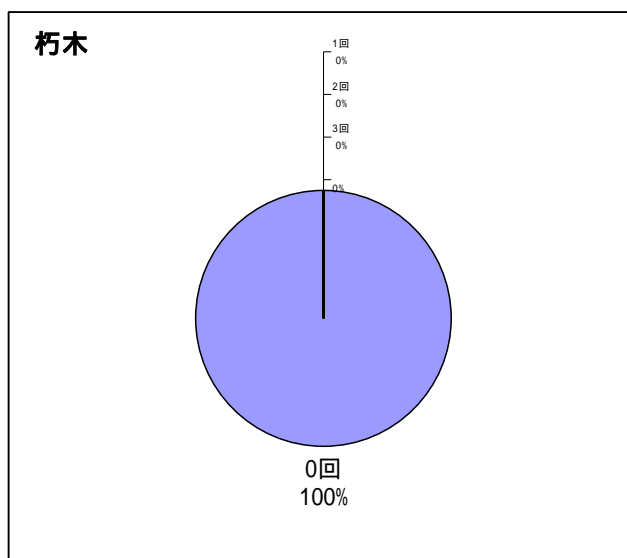
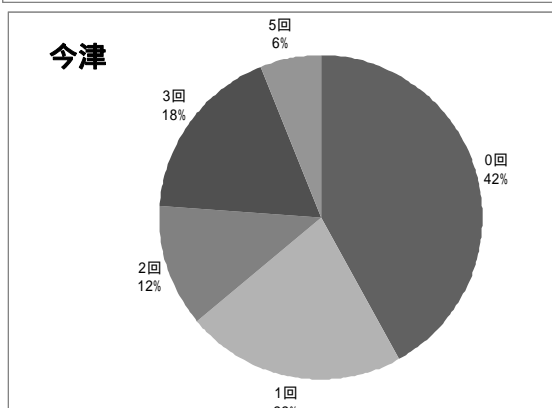
集落名	月日	聞き取り場所	人数	聞き取った人
麻生区	11/18	自宅訪問	1	長谷川、民生委員 宮田
雲洞谷区	11/29	自宅訪問	1	山崎（克雪委員） 大学生、宮田
上針畑 (生杉・小入 谷・針畑)	11/29・12/12	自宅訪問(1人)	8	長谷川、宮田
下針畑 (桑原・平 良・小川)	12/6・12/12	個人宅・電話	5	長谷川、宮田
市場区	12/19	自宅	1	長谷川
栃生区	12/19	電話	4	宮田
地子原区	12/23	集会所	19	海老澤（克雪委員）
古川区	12/25	集会所	15	長谷川、宮田
能家区	1/23	電話	1	宮田
合計 9集落 55人				

1-1-1. 自宅の屋根雪下ろしの回数は？（平年）

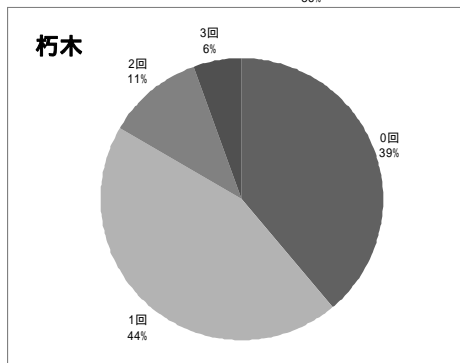
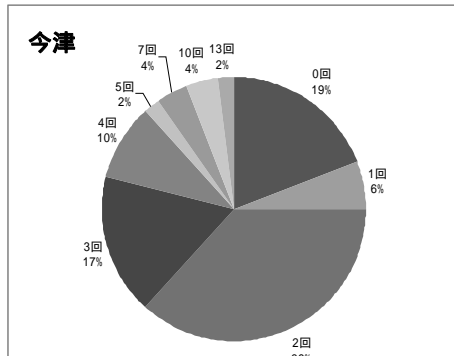
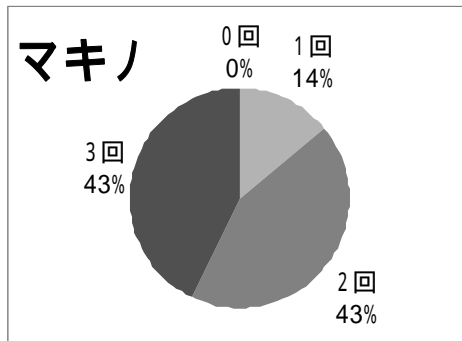
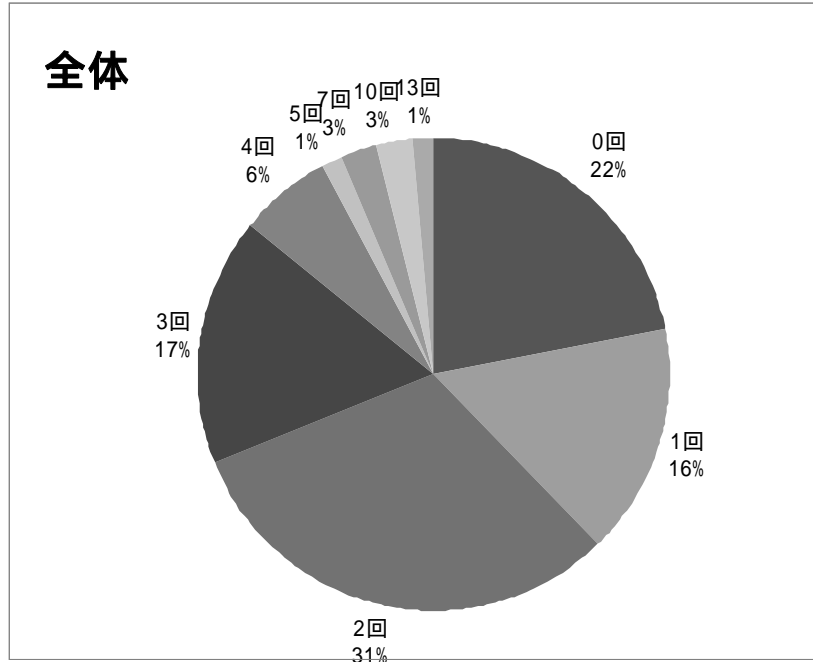


平年並みの雪では70%が屋根雪を下ろす必要性がないと回答している。

朽木については回答者から「平年は屋根雪下ろしをしない。下から軒先の雪を掻き落とす程度」という回答であった。一方、今津西地区では平年でも3回、5回と屋根雪下ろしをする方がいる。



1-1-2. 自宅の屋根雪下ろしの回数は？（豪雪年）



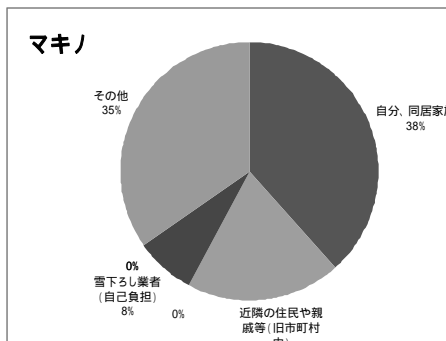
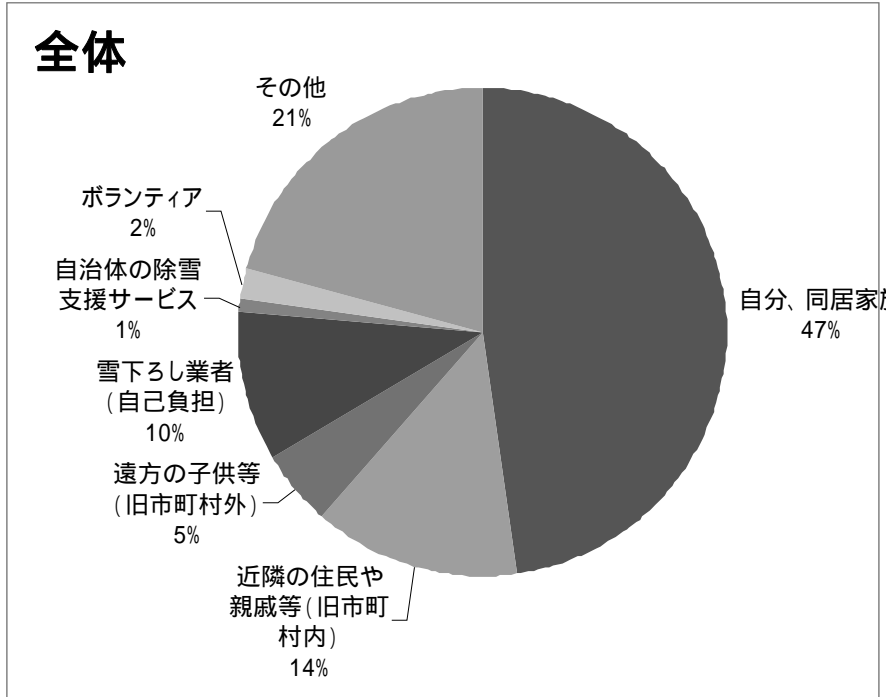
平年に比べ、3地域全てで0回から1回が減る（全体の0回から1回の合計81ポイントから38ポイントに減少）。

豪雪年の屋根雪下ろしは、マキノ、朽木では最高3回だが、今津西地区では10回以上屋根雪を下ろす家もあるのが特徴。朽木は他地域に比べて豪雪年でも1回以下が8割を越え、他地域に比べ屋根雪を下ろす回数が少ない家が多い。次の設問コメントにあるように、回答者の自宅がトタン屋根になっていることが関連していると思われる。



トタン屋根の住居の除雪ボランティア（立命館大学ワークキャンプ 平成24年2月）

1-2-1. 自宅の屋根雪の処理方法は？（平年）



3地域とも自助を中心に雪処理がおこなわれている。

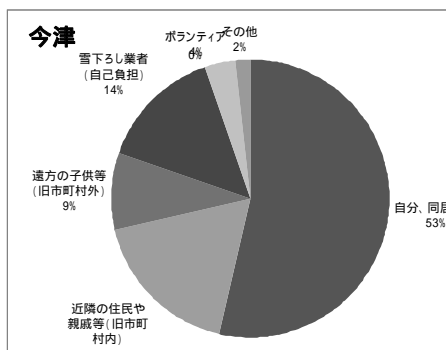
【関連コメント】

<マキノ>

- ・自然に落ちるようにしてある。
- ・家の他にも蔵や小屋がいくつもあり、それらの屋根雪も心配。

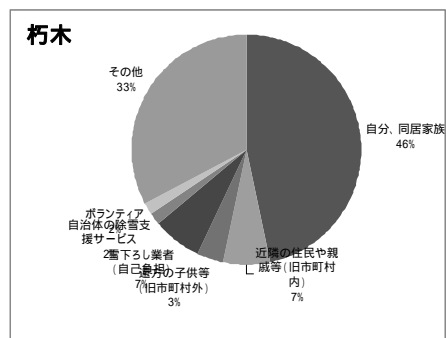
<今津>

- ・1mまでは放置する。それ以上になると、高齢者世帯が多いので、業者に頼む。
- ・去年から大学生のボランティアが来てくれ、雪かきなどもしてくれる。

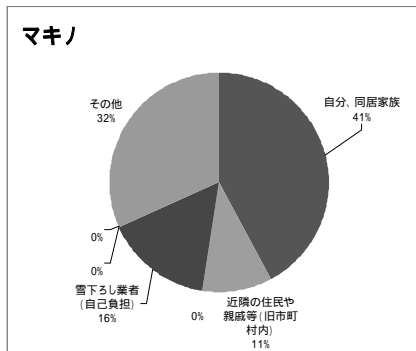
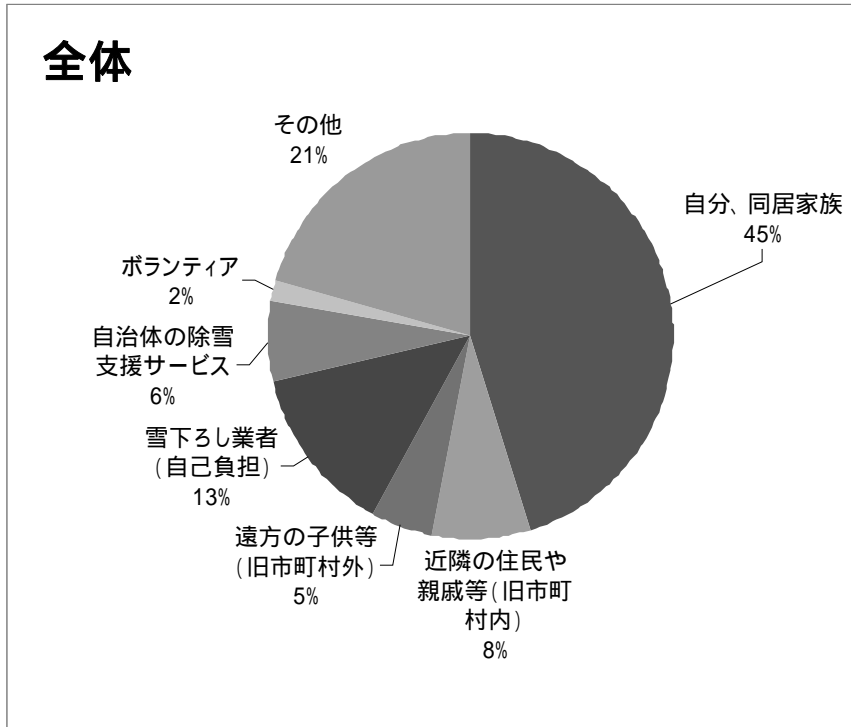


<朽木>

- ・トタン屋根にしているので自然に滑り落ちる。
- ・かわら屋根のため自分で除けるしかない。
- ・近所の方がふんでくれる（1時間2,000円）、毎週末、息子が草津から帰ってくる。
- ・かわら屋根で、お父さんがスノーダンプでおろしている。
- ・蔵の屋根（瓦）は上がって落としている。
- ・1人暮らしになってからほっている。屋根にのぼって落ちたら大変。折れたら折れた時。
- ・かわら屋根なので自然に落ちる。



1-2-2. 自宅の屋根雪の処理方法は？（豪雪年）



平年に比べて、極端に自助・互助力（近隣、親戚、子ども含む）が落ちていない。マキノ、朽木は自助以外の多様なサービスを活用しているが、マキノは自助と雪下ろし業者の活用のみとなっている。

【関連コメント】

< マキノ >

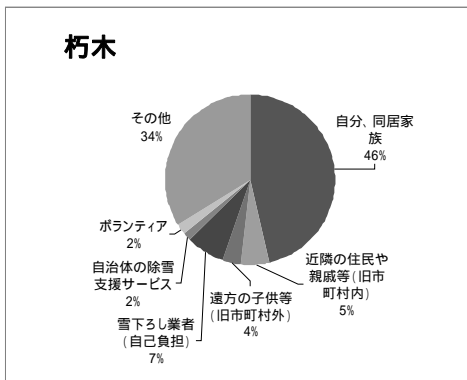
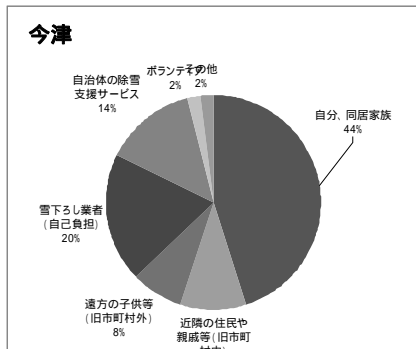
- ・自然に落ちるようにしてある

< 今津 >

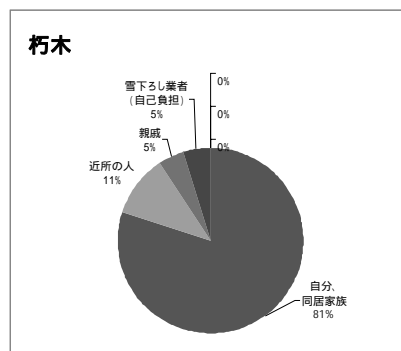
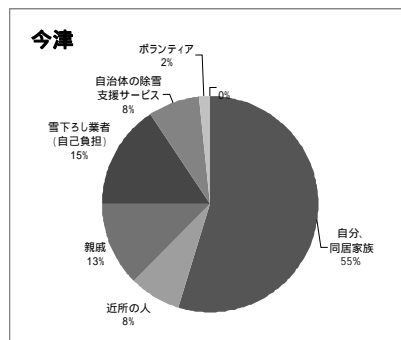
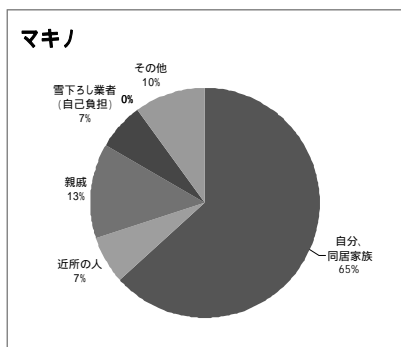
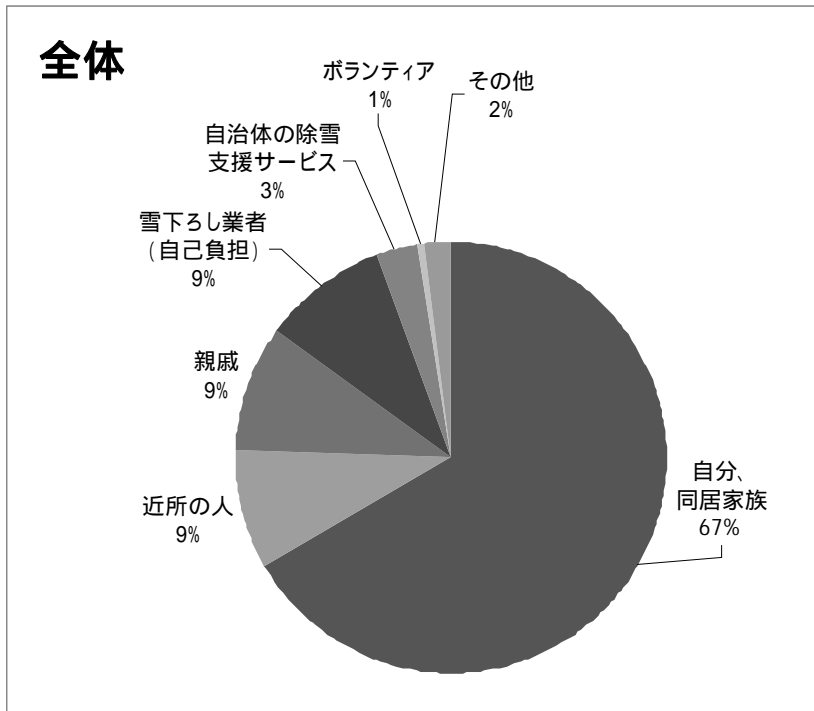
- ・雪がなくなるまでそのままにしておく

< 朽木 >

- ・トタン屋根にしているので自然に滑り落ちる。
- ・在所の雪がきしてくれる人が家の周りも機械の入る範囲でしてくれるので助かっている。



1-3-1. 自宅の敷地の雪処理方法は？（平年）



全体では85%が自助、互助で対応しているが、下記コメントのように個々の課題がある。

【関連コメント】

<マキノ>

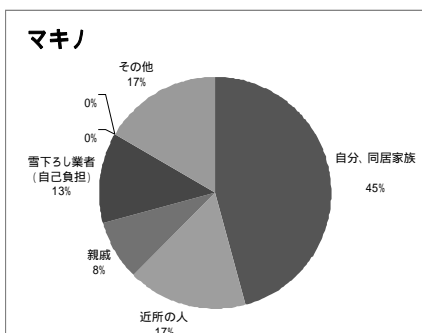
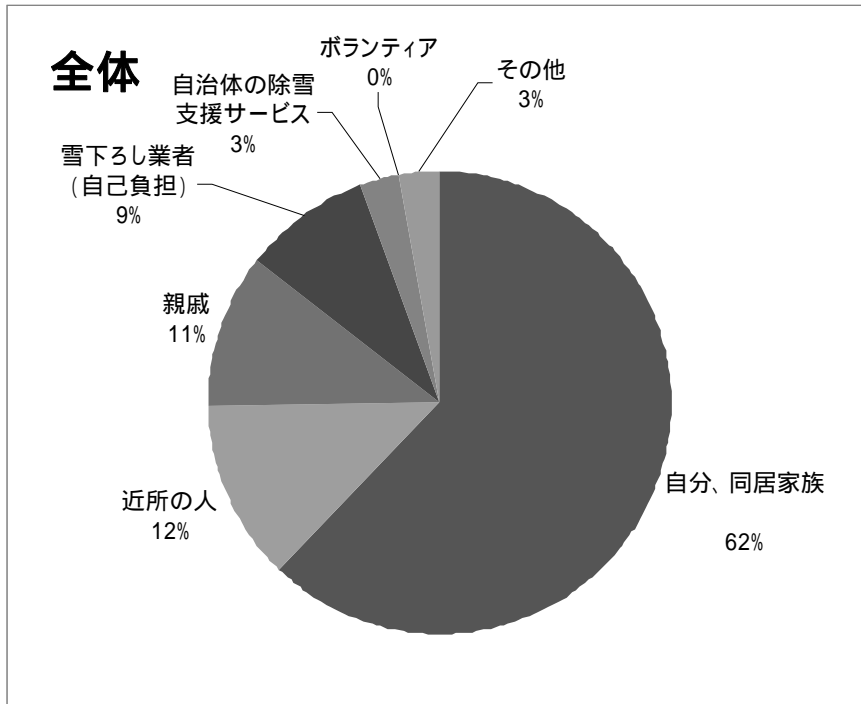
- ・軽トラのある家は、車にのせて集落のはずれなどに捨てる。
- ・軽トラのない家は、家の前の川や池に捨てるが、全く追いつかず捨てる場に困る。
- ・道までは雪かきしているが、区内の親戚にも頼む。機械を持っているので、油代など払っている。
- ・スノーダンプで前の道へ出すと、集落で集めて、はずれへ捨てる。
- ・年2~3回、シルバーに頼む。おとなりが休みに手伝ってくれる。
- ・玄関から水が出ている道までの雪かきを、全て自分でやらないといけないので大変。
- ・自前の消雪装置を作って、雪をとかす。

<朽木>

- ・助け合いの組織ではなく冬の仕事として雪かきしてくれるのでお金がかかる。(1シーズン7~8万)
- ・上針畑で山仕事をされている方が1人1時間2,000円でしてくれる。
- ・二人で協力して除雪している。

- ・いつまで続くか分からない。だんだんえらくなってきた。
- ・県道まで（60m）が除雪してもらえないので出られない。足が痛いので雪の中出られない。滑ったら立てない。昨日もこけて1～2時間たてなかった。
- ・近所もみんな高齢者なので頼めない。
- ・前の池の融雪でとかす。運動がてらやっている。

1-3-2. 自宅の敷地の雪処理方法は？（豪雪年）



全体では自分・同居家族が5ポイント減少するが、近所、親戚の協力で除雪をしている人は平年と変わらず85%いる。その他支援についても利用割合は平年と変わらない。

【関連コメント】

<マキノ>

・軽トラのない家は、家の前の川や池に捨てるが、全く追いつかず捨てる場に困る。

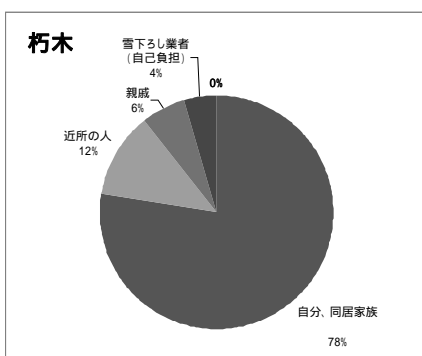
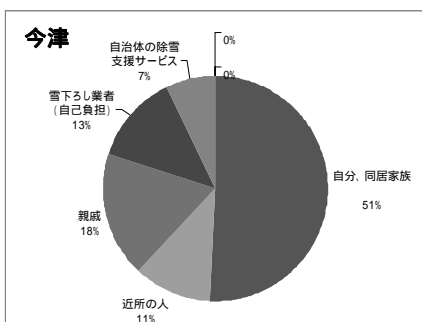
・業者・・・造園屋さんなど、グリーンレイク内出入り業者。

その他、知り合い、つきあいのある人

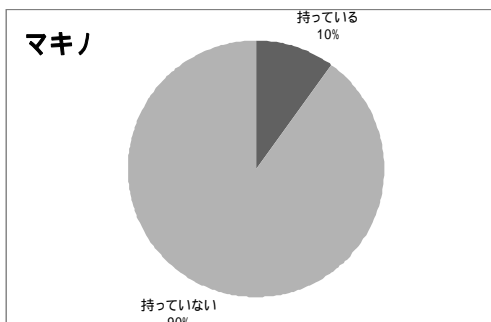
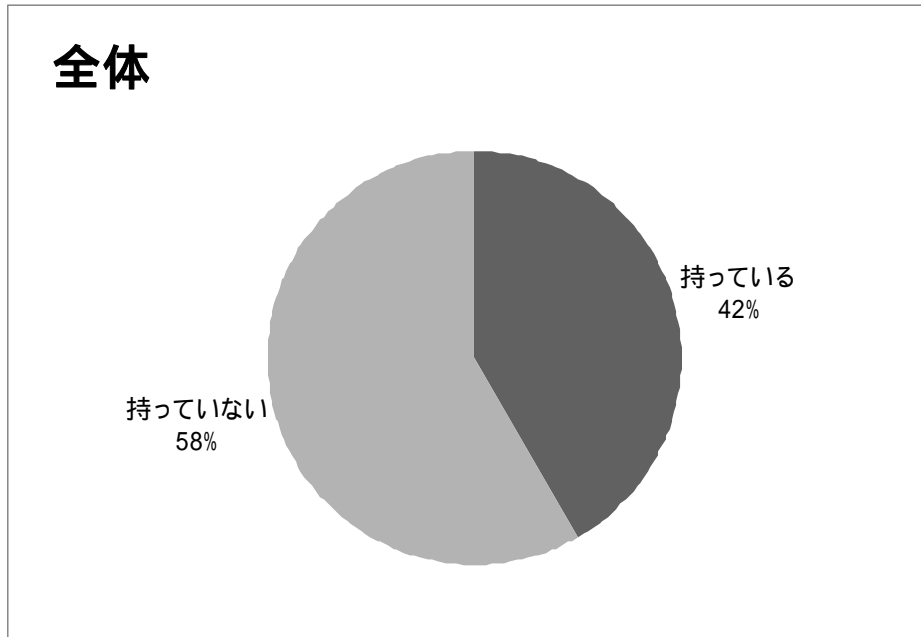
<朽木>

・上針畑で山仕事をされている方が1人1時間2,000円でしてくれる。

・1年に2～3回1時間2,000円お金はかかるけれど助かる。



1-4. 自宅での除雪機械の保有状況は？



地域差がはっきりと分かれ、マキノでは持っていない人が9割、朽木でも7割近いが、今津では7割近くが除雪機械を保有している。マキノで持っていない家が多いのは、持っていても雪を飛ばす場所がなく、使い勝手が悪いためでもある。また、持っていても、高齢者世帯には使えないことが多い。

【関連コメント】

<マキノ>

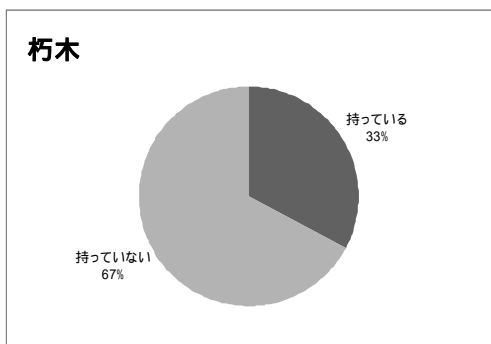
- ・持っていても追いつかない、階段が多いので使いづらいと思う。雪を捨てる場所がない。
- ・持っているが、置いてある小屋までの雪かきがまず大変。力がないので操作も大変。

<今津>

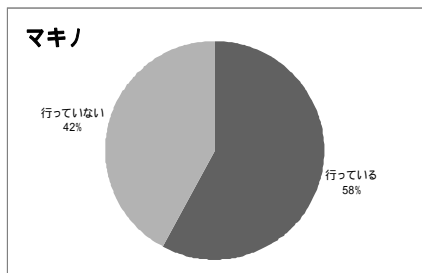
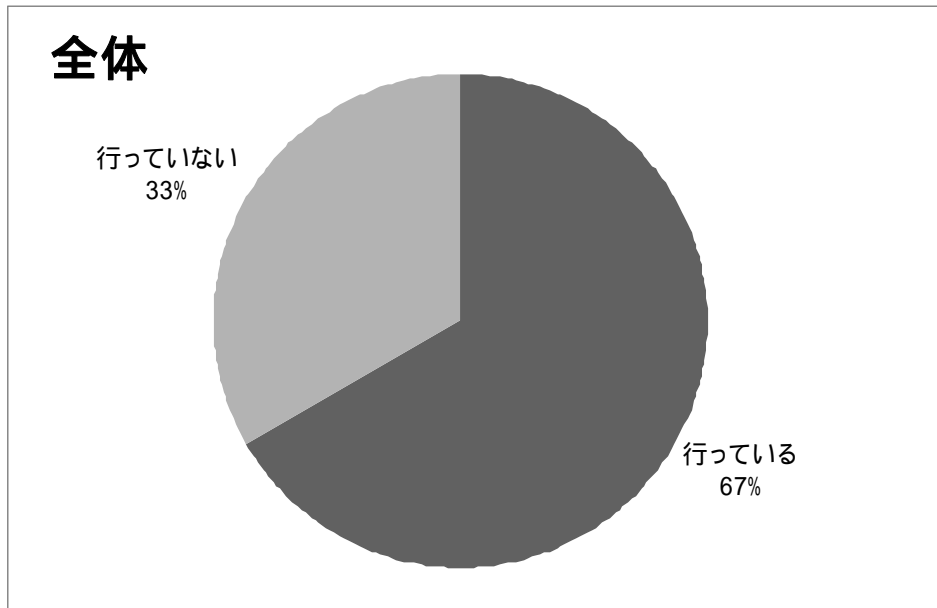
- ・持っているが古い、持っていない人はスノーダンプで川へ捨てる。

<朽木>

- ・道に飛ばしてはいけないと言われ人に売った。
- ・捨て場がないので機械は必要ない。
- ・スノーダンプ、スコップはある。
- ・持っているが使えなくなってしまった。



1-5. 自治会等の組織としての除雪活動の有無は？



多くの区で共同体としての除雪活動はあるが、「普請」として、集会施設や消防設備、寺社などの公共施設の除雪をおこなうという意味と、平時の生活道路の除雪であり、集落内の高齢者世帯の除雪を組織的におこなうという仕組みにはなっていないと考えられる。

【関連コメント】

<マキノ>

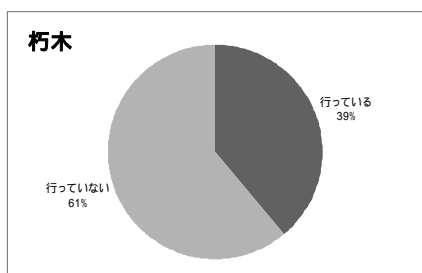
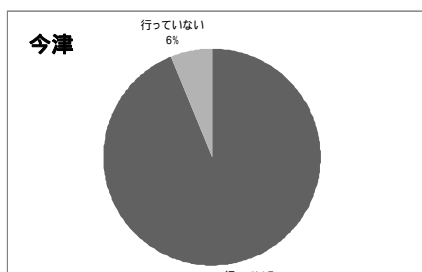
- ・道と消火栓まわりを行っている。
- ・自分たちの所で手いっぱい、公共施設（集会所、寺など）の雪かきを何回かした。
- ・道や寺社の雪どけのみ。

<今津>

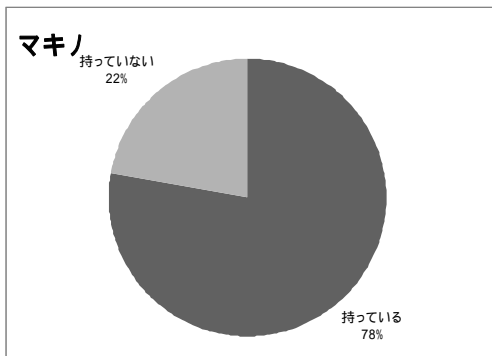
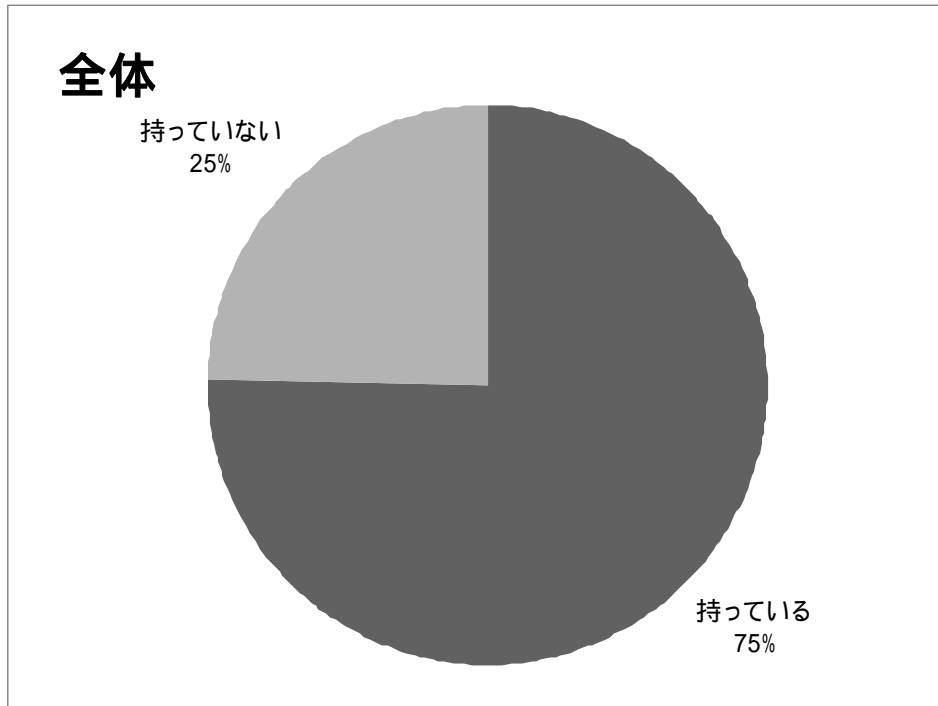
- ・区役員ががんばってしてくれている
- ・ホイールローダー。乗る人は数人、固定の人がしてくれている。当番制ではない。
- ・公共施設、お寺や集会所、市の除雪が入れないところ。

<朽木>

- ・朝には除けてくれている。
- ・自分でできるので在所にたよらなくても大丈夫。



1-6. 自治会等の組織での除雪機械の保有状況は？

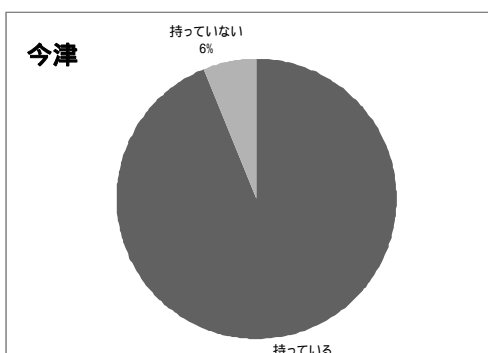


多くの区で保有しているが、機械があっても、扱える人が少なくなっている声が多い。

【関連コメント】

<マキノ>

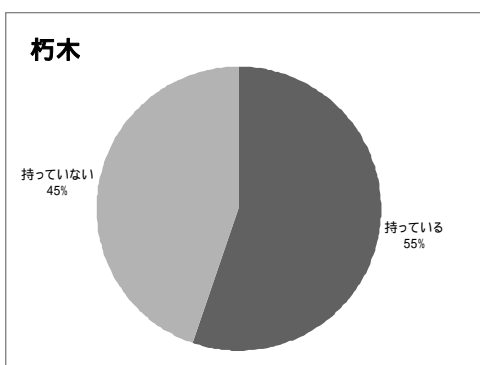
- ・免許が必要なため、扱うことができる人数が少ない。
- ・オペレーター10名を順番に組んでいるが、遠方に勤めている人は土日の人に代わってもらう。若い世代に地域貢献の意識が薄くなっている。



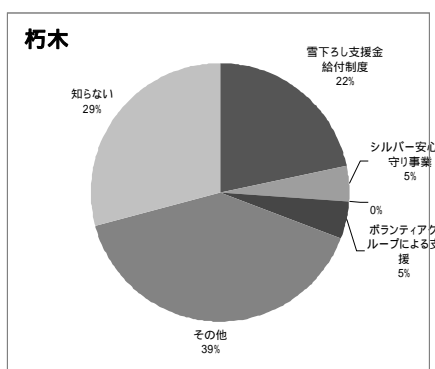
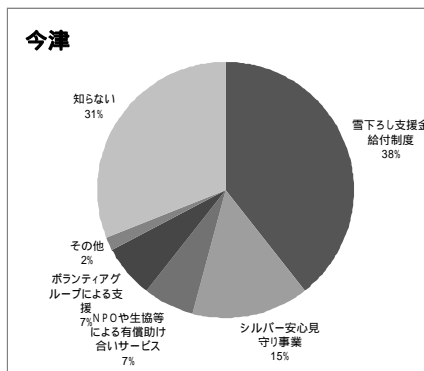
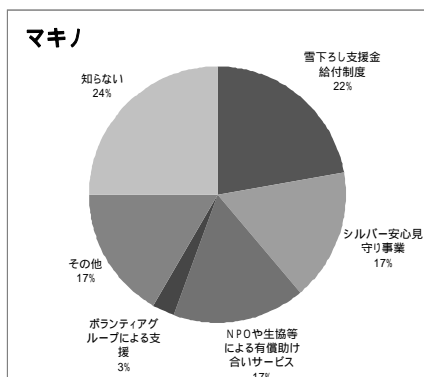
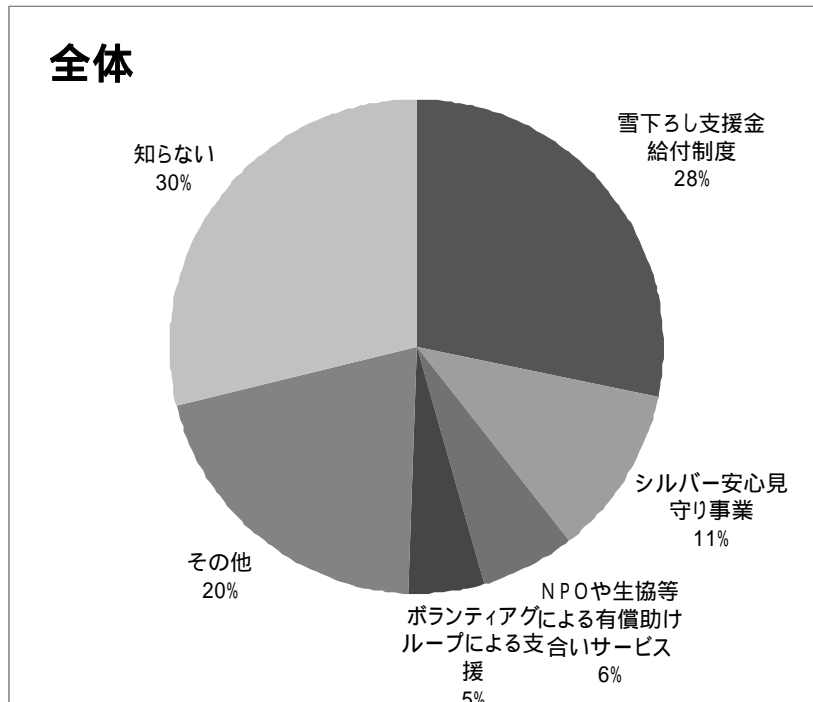
- ・除雪ドーザー（オペレーター3名）。自分の家の前の道はやってもらえないので、隣の人が流している水が頼り。

<今津>

- ・ホイールローダー。



1-7. 現在、市等が行っている除雪支援サービスを知っていますか？



概ね3人に1人は、公民の各種サービスを知らない人がいる。情報提供、相談窓口、対象要件、金額等の判断できるものが十分届いていない可能性がある。

【関連コメント】

<マキノ>

- ・知っているが、利用していない。
- ・区の中で、1回に限り生活道路の支援をする。
- ・もし頼んでも、毎日朝晩なので追いつかないと思う。一度業者に頼んだが、忙しくて来てもらえなかった。
- ・知らない。どこに言えばよいかもわからない。
- ・サービス料金が高いと思う。じゃがいもの家で無料雪かきをしていたが、今年から頼みにくいので500円払っている。

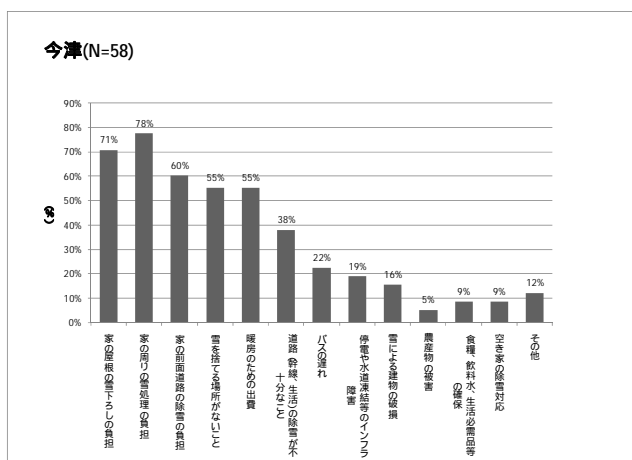
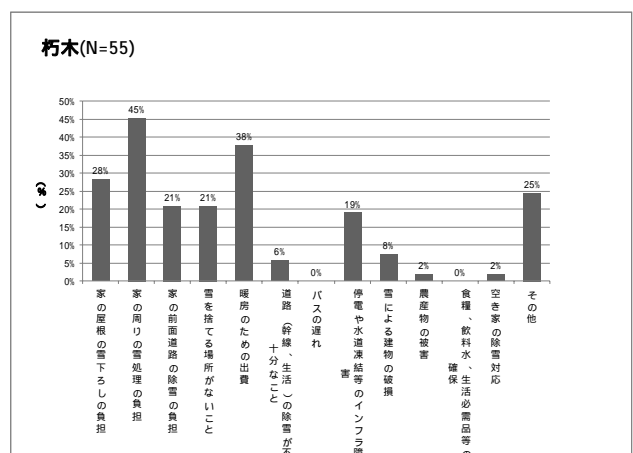
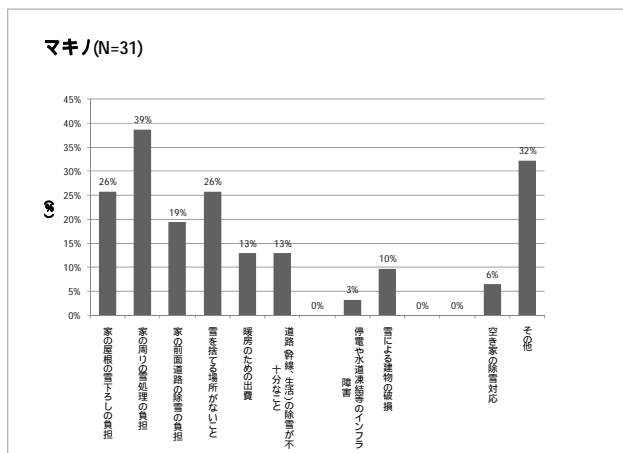
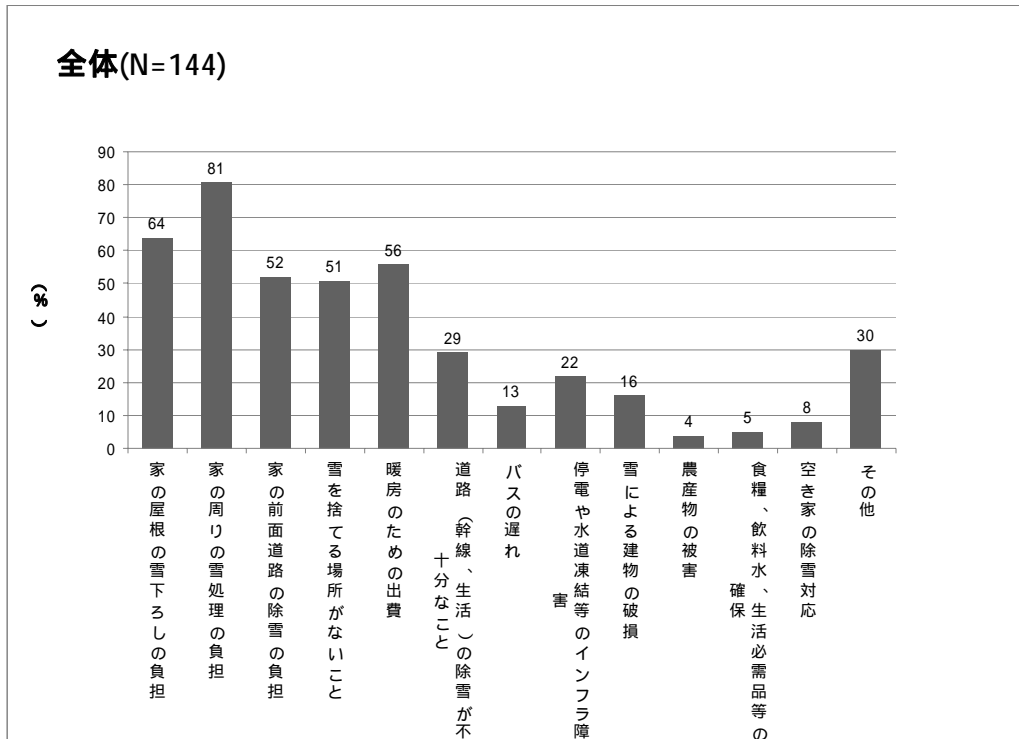
<今津>

- ・知っているが、利用していない。
- ・(ボランティアグループ)大学生、自衛隊。
- ・シルバー安心見守り事業は、遠くて来てもらえない。他も、実際頼むとなると難しい。

<朽木>

- ・支援してほしいが誰もしてくれない。介護保険申請したが、まだサービス使っていない。
- ・知らないが、今後教えてほしい。
- ・使うことがないからわからない。
- ・知らない。今は必要ないので知らなくてよい。

2-1. 昨年大雪（平成24年1月～2月）時に困ったことは？



上位5位までは 家の周りの雪処理の負担 家の屋根の雪下ろしの負担 暖房のための出費 家の前面道路の除雪の負担 雪を捨てる場所がないこと であった。

調査対象の母数は違うが、複数回答の中で今津(58人)から多くの困りごとがあがっている(合計431ポイント中260ポイントが今津)。これは調査方法がグループによる聞き取り(今津)と個別による聞き取り(マキノ、朽木)の違い(言いやすさ)も加味した上で分析する必要がある。

【関連コメント】

<マキノ>

- ・シルバー安心見守り事業は、対象者が限られており、いざとなればここへ連絡すればよいという機関がないため、日々心細い。
- ・よそも自分のことで精一杯なので、とにかく自分でやらなければしょうがない現状。
- ・お父さんに介護の手がかかるので、今年は生活道から玄関の間がどうなるか心配。例年、月に5.6回は必要。
- ・親戚に頼んで来てもらっていたのでお金もずいぶん必要
- ・80代のお父さん一人で雪囲いから雪おろしまで全てやっているが、今年はどうなるか・・・。
- ・除雪車が残していった雪の塊に困る。除雪車が来るのが遅い。
- ・今年から一人なのでどうなるか不安。
- ・雪で破損しないよう事前に移動する。空き家は親戚に声かけして除雪してもらった。
- ・せっかく道路を雪どけしても、除雪車が通ると雪の塊が家の前やガレージの前にたまるのが困る。もう少し住んでいる人の身になって、配慮してほしい。
- ・雪を捨てる場所に一番困っている。除雪車が、どけた雪をまた別の邪魔なところに寄せてくる。
- ・雪どけに業者や子ども達に渡す金額がかなりの出費であること、また業者への支払いの見当がつかなくて困るし、最初に聞いていたより高く請求されることもあり、ちゃんとした料金表のようなものを配布してもらいたい。
- ・シルバー安心見守りをしてもらっているが、来てもらう時間が遅いし、雪どけしてもらう面積が少ない。玄関から道まで以外の部分を雪どけしてもらえるとありがたい。
- ・30cm以上積もると、機械もあるが、自分では難しい。
- ・除雪車が来るのが遅く、透析に行くのに困った(透析は火・木・土、7時半には家を出る)。昨年は除雪業者(オペレーター)に頼み、一番に雪どけしてもらえるように頼んだ。

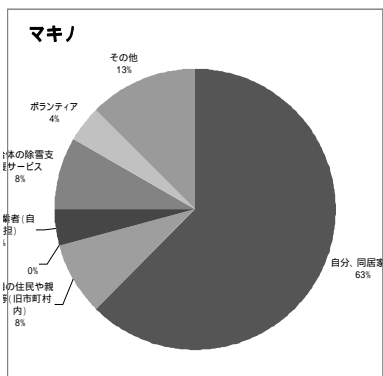
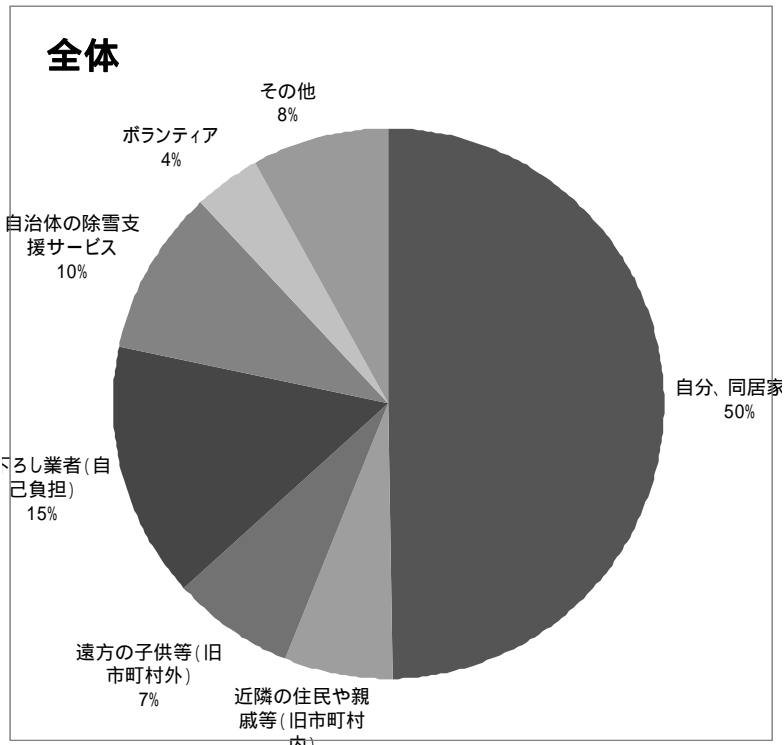
<今津>

- ・生活道路の除雪が不十分。空き家の除雪について、特に困っている。
- ・雪は田んぼに捨てる。水道凍結しないように防衛している。
- ・雪で建物が破損しないよう、事前に防いでおく。
- ・大雪時は困ることも多いが、仕方がないと割り切っている。

< 朽木 >

- ・ 昨年、立命館大学の学生に雪を除けてもらったのはありがたかった。
- ・ 雪が怖い。昨年までは問題なかったが、今年は厳しくなった。
- ・ 特にない。毎年のことなので、準備もしているし大丈夫。
- ・ 毎年のことなので慣れている。心配ない。大丈夫。
- ・ 困った時は近所の人に助けてもらえるので大丈夫。
- ・ 車いすの出入りが大変。
- ・ 困った時は民生委員に相談する。

3-1. 今後の自宅周辺の除排雪の意向は？

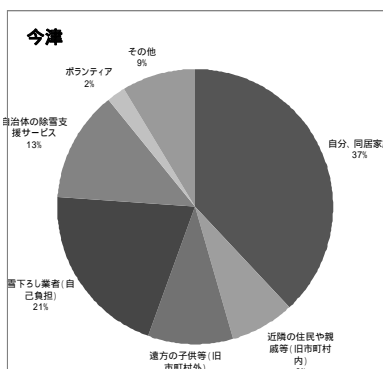


今後も自助・互助（近隣、親族、遠方の子ども含む）でという答えが半数以上を占める。しかし、自身が高齢になり、集落も過疎高齢化が進行する中で、自助・互助の限界があることへの不安は大きい。

【関連コメント】

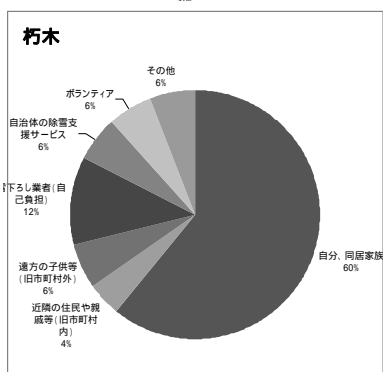
< マキノ >

- ・年々力がなくなっているのを実感する。どうしたらいいか心配。
- ・できる間は自分達で。ただ、先のことを考えると不安。



< 今津 >

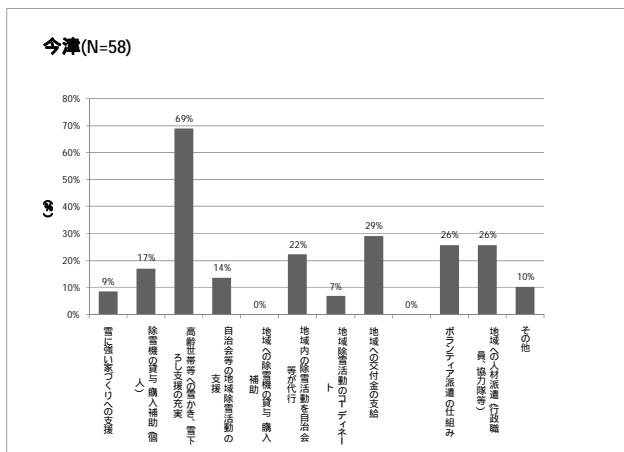
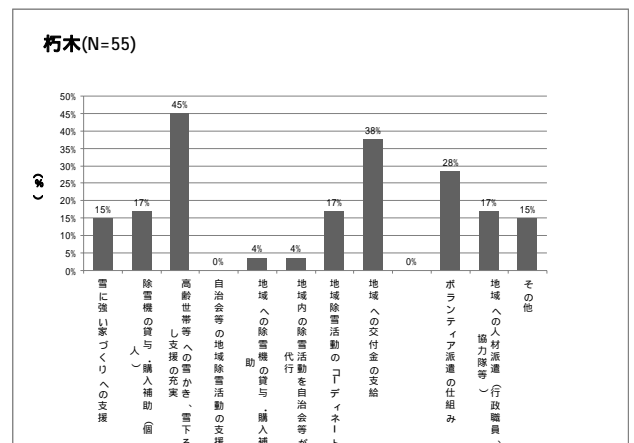
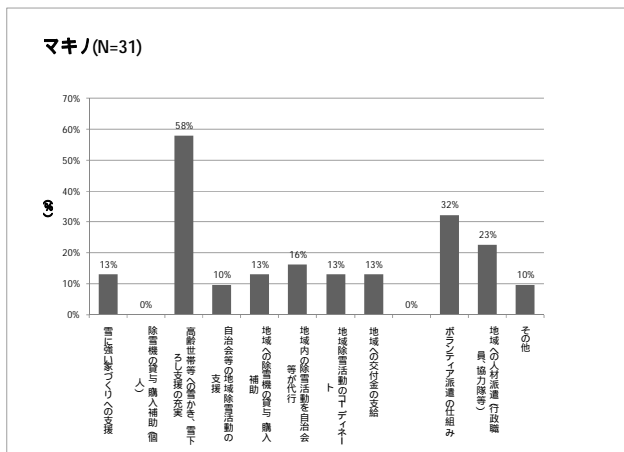
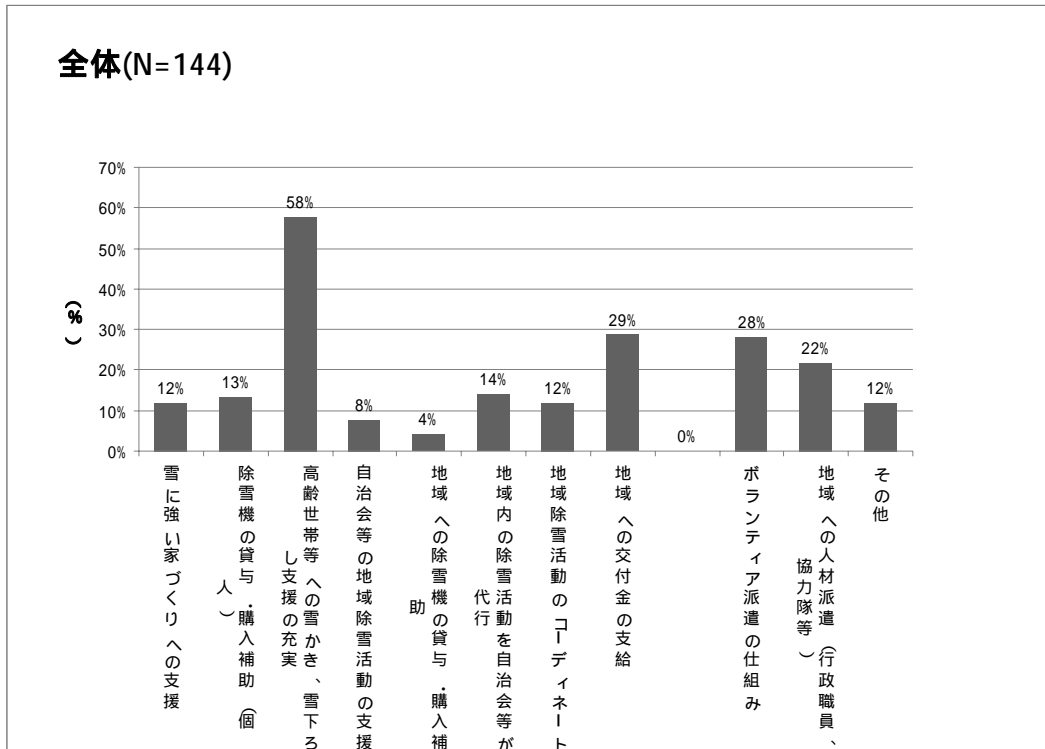
- ・親戚は老人が多くてたのめない。
- ・子どもに来てもらう。
- ・今はできるが今後はわからない。
- ・雪が消えるまで放っておく。



< 朽木 >

- ・今まで出来ていた事がだんだん出来なくなっている。
- ・10月に息子が帰ってきてくれた。毎年のことを思うと安心。

3-2. 除排雪に係る公的支援としてあると良いものは？



3地域全てにおいてトップだったのは高齢世帯、独居世帯への福祉的支援の充実を求める「高齢世帯等への雪かき、雪下ろし支援の充実」であった。次に「地域への交付金の支給」、「ボランティア派遣の仕組み」、「地域への人材派遣（行政、協力隊等）」といった資金やマンパワーでの支援が続く。

【関連コメント】

<マキノ>

- ・ボランティア派遣や地域への人材派遣は、今は区内で対応できているが、将来的には必要。
- ・トタン葺き替えの補助、高齢世帯等への雪かき、雪下ろしの負担率を下げる、地域内の除雪活動を自治会にまわす、現在のまちづくり交付金以外に雪対策交付金用に別枠をもうける、公共場所の除雪に対してボランティアなど人材を派遣する。現在は、区内で支援できているがいずれ必要となる時がくる。
- ・市役所が組織して除雪隊を作るなど。除雪車に関しては、国道との連携で改善したい。
- ・除雪機は雪を飛ばす場所がないし、オペレーターもいない。
- ・将来は、ボランティアなど人材派遣をお願いせねばと思う。

<今津>

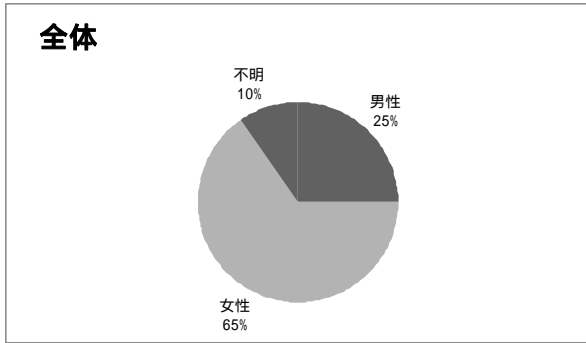
- ・除雪にかかる費用を自治会などで補助してほしい。
- ・今後も続くような支援をしてほしい。
- ・ボランティアや人材派遣は、お祭りのようになっている、真剣味に欠ける。親身になって、本当に困っていることを支援してくれるならと思う。
- ・除雪の無償サービス、除雪の金銭負担をできるだけ軽減してほしい。
- ・天増川集落内にある橋を、大型車が通行可能な橋にしてほしい。

<朽木>

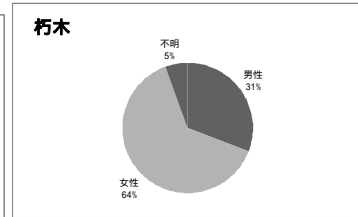
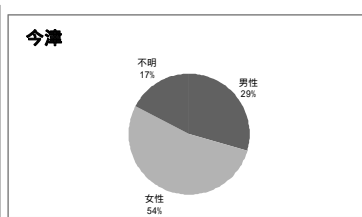
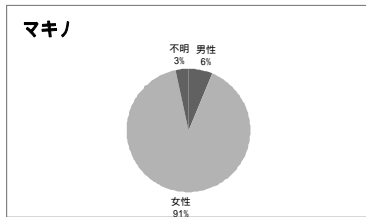
- ・大道はブルが除けてくれるし、家の周りは近所の人や山師の人が除けてくれるので、これ以上ぜいたくは言わない。
- ・特にない。お父さんとボチボチするしかない。
- ・いつまでできるかなと思う。
- ・区に除雪機を使ってくれる人がいない。
- ・借りても除雪してくれる若者がいない。

聞き取り対象者の属性

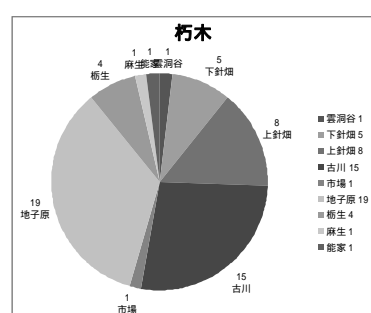
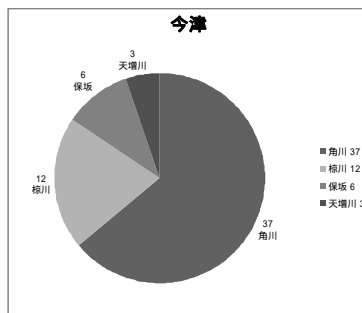
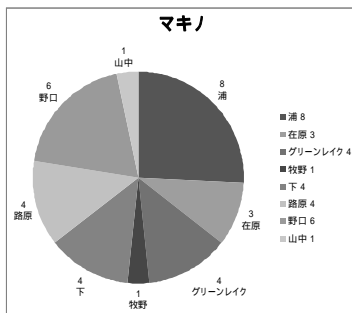
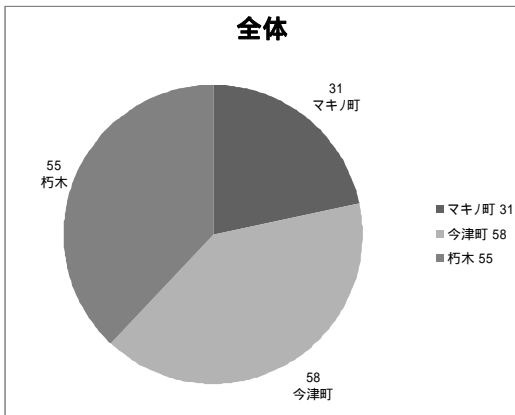
4-1. 性別



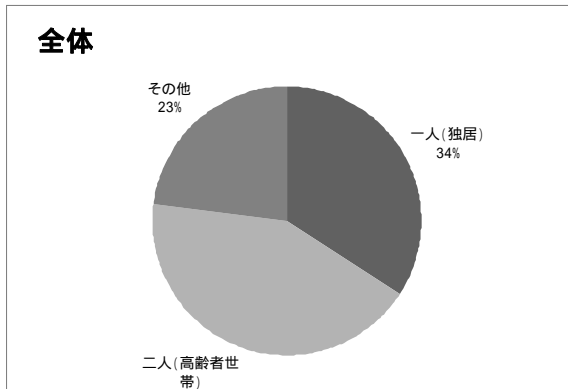
性別	マキノ	今津	朽木	合計
男	2	17	17	36
女	28	31	35	94
不明	1	10	3	14
合計	31	58	55	144



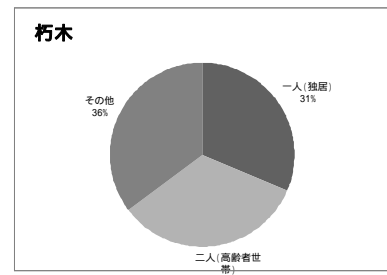
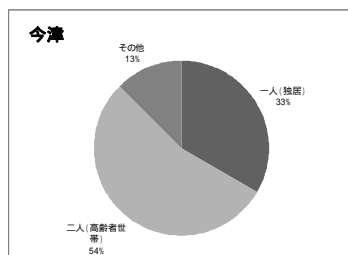
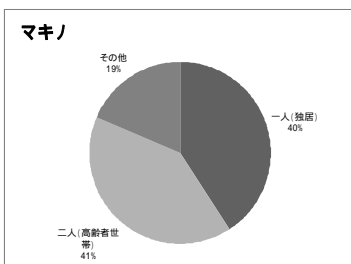
4-2. 居住地



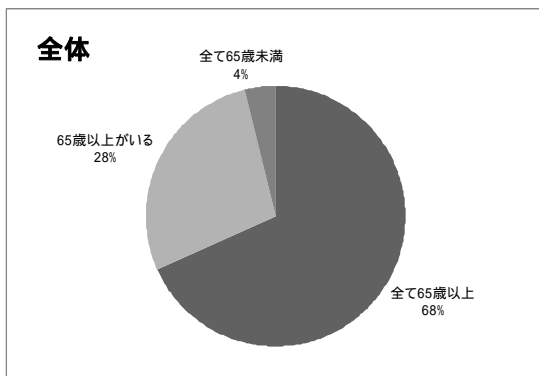
4-3. 世帯人数



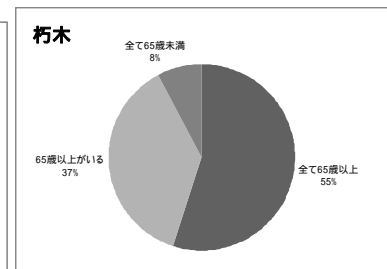
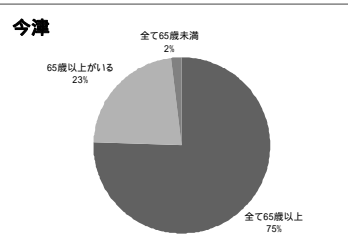
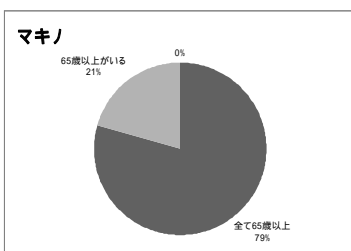
世帯人数	マキノ	今津	朽木	合計
一人(独居世帯)	11	16	16	43
二人(高齢者世帯)	11	26	17	54
その他	5	6	18	29
合計	27	48	51	126



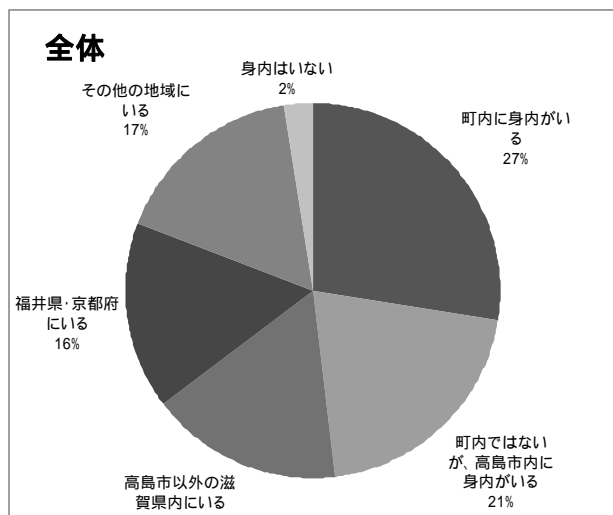
4-4. 世帯員の高齢者の状況



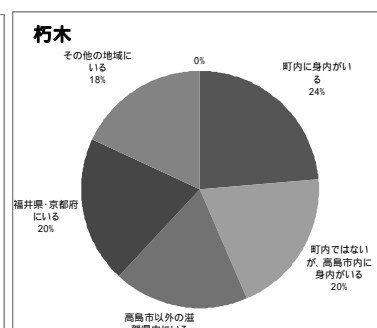
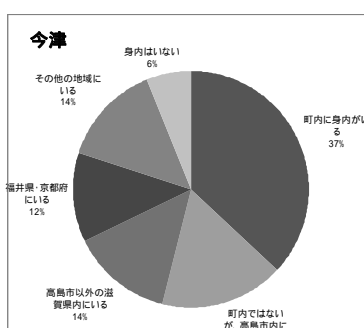
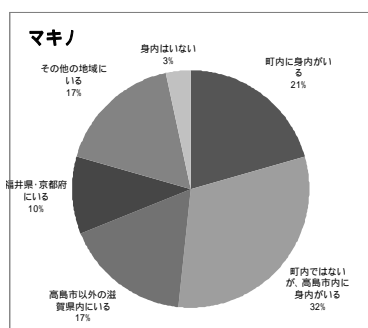
高齢状況	マキノ	今津	朽木	合計
全て65歳以上	23	40	28	91
65歳以上がいる	6	12	19	37
全て65歳未満	0	1	4	5
合計	29	53	51	133



4-5. 別居している身内の状況



別居状況	マキノ	今津	朽木	合計
町内	6	24	26	56
高島市内	9	11	22	42
県内にいる	5	9	20	34
福井・京都	3	8	22	33
その他地域	5	9	20	34
いない	1	4	0	5
合計	29	65	110	204



5-1. その他自由意見

< マキノ >

- ・市内に息子世帯があるところでも、屋根雪降しはしてもらっていない。
- ・仕事などがあり頼みにくいのが現状で、同じ在所に息子がいても慣れていない者がやってケガをするくらいなら、やらなくてよいと思っている。
- ・庇の雪を何度か落とす位で、玄関から道までの雪かきに追われ、きしむ天井をただ見上げるだけの日々を送っている。
- ・去年は雪かき業者のポストへの投げ込みがあったが、料金設定があやふやで高額の請求があったと聞いた。
- ・生活道からどけた雪は、国道に出しておくで除雪車が持って行ってくれる。
- ・他地域の人に雪かきに来てもらうよりも、地域内の助け合いの方がいいに決まっている（雪のこともわかるし、雪下ろしのこともわかっている）が、自分の所が大変で、他をするゆとりがない。

< 今津 >

- ・自宅までの生活道（約 300m）の除雪を自前の機械で行っているが、約半分の 150mは区との共有道なので、燃料費の補助がもらいたい。
- ・雪を捨てる場所がない。
- ・困っていることばかり。

- ・今年が夫が足が悪いので困る。
- ・屋根雪の多いところ、雪の捨て場（今は田んぼと川に捨てている）が今後心配。
- ・町内に住む息子さんもすぐに来れないし、自分でやるにも段々難しくなる。
- ・雪は仕方のないこと。
- ・冬は雪を触ってばかり。
- ・地域の若い人（移住してきた人）に頼んで屋根おろしを1回してもらった。彼は他の家にも声をかけて雪下ろしをしてくれる。自分達は自分のところだけで必死。
- ・近隣で雪かきをしてくれる方がいない（若手がいない、担い手不足）。学生ボランティア（高校生、大学生など）とつながりを持ちたい。
- ・除雪が大変。特に屋根雪。雪が降ると、2月中まで毎日の雪のけで、腰や腕の痛みがある。
- ・高齢者世帯での冬季での生活は無理なので、できたら11月から3月までは市営住居で生活できることを願っている。

< 朽木 >

- ・灯油は買いに行ったり配達してもらったりする。買い物はまとめ買いをしたり、保存食や野菜があるからなんとか大丈夫。バスも動いているし、買い物に行くこともできる。